

# 大隅地域感染症情報

2019年第15週報（4月8日～4月14日）

発行：大隅地域振興局保健福祉環境部

## ○全数把握疾患の報告数

	鹿屋保健所管内	志布志保健所管内
一類感染症	該当なし	該当なし
二類感染症	該当なし	該当なし
三類感染症	該当なし	該当なし
四類感染症	つつが虫：1件	該当なし
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症：1件	該当なし

※速報値であり、後日修正になる可能性があります。

## ○定点把握疾患の報告数

- ・鹿屋保健所管内のインフルエンザについて、先週に比べて報告数が増加しています。
  - ・志布志保健所管内の手足口病について、報告数が大きく増加し、警報の基準値を上回っています。
- 例年夏場にピークが見られるため、今後の動向に注意が必要です。

疾病	警報レベル 開始/終息 基準値	注意報 基準値	鹿屋保健所管内推移				志布志保健所管内推移				大隅全体	県全体
			12週	13週	14週	15週	12週	13週	14週	15週	15週	14週
インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	1.38	1.13	0.38	1.63	3.80	4.80	2.40	1.60	1.62	0.85
RSウイルス感染症	-	-	0.60	0.40	1.40	0.80	0.33	0.67	1.00	1.33	1.00	0.98
咽頭結膜熱	3.00/1.00	-	1.20	0.40	1.20	1.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.75	0.87
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	-	2.00	0.60	0.80	1.60	0.00	1.00	0.33	1.67	1.63	1.91
感染性胃腸炎	20.00/12.00	-	10.00	8.20	7.60	9.40	6.67	6.00	4.33	5.00	7.75	9.15
水痘	2.00/1.00	1.00	1.20	0.60	1.40	0.60	0.00	0.00	0.67	0.33	0.50	0.52
手足口病	5.00/2.00	-	0.20	0.00	0.00	0.60	2.33	1.67	1.33	10.00	4.13	0.26
伝染性紅斑	2.00/1.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.24
突発性発疹	-	-	0.00	0.00	0.20	0.40	0.00	0.33	0.00	0.33	0.38	0.39
ヘルパンギーナ	6.00/2.00	-	0.00	0.00	0.20	0.20	0.33	0.33	0.33	1.00	0.50	0.15
流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	0.20	0.40	0.40	0.00	0.00	0.33	0.33	0.33	0.13	0.15
急性出血性結膜熱	1.00/0.10	-	0.00	0.00	0.00	0.00						-
流行性角結膜炎	8.00/4.00	-	3.00	2.00	2.00	1.00						2.14
細菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
無菌性髄膜炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
クラミジア肺炎	-	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	-
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	-	-	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	

警報基準値以上

注意報基準値以上

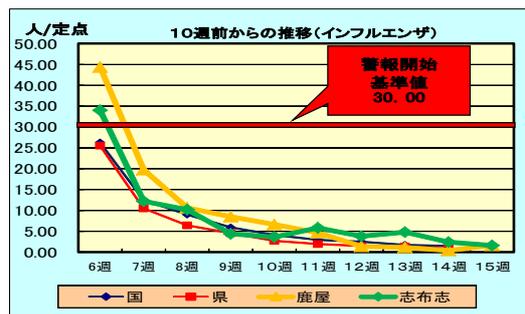
## ○インフルエンザについて

【 警報開始基準値 30.0, 警報終息基準値 10.0, 注意報基準値 10.0 】

インフルエンザの発生状況は、  
鹿屋保健所管内からは13名（定点当たり報告 1.63）の報告がありました。

志布志保健所管内からは8名（定点当たり報告 1.60）の報告がありました。

年齢別では、3歳及び30歳代が最多でした。



※第15週は鹿屋・志布志のみ掲載

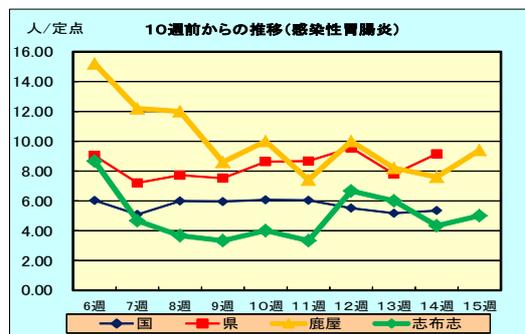
## ○感染性胃腸炎について

【 警報開始基準値 20.0, 警報終息基準値 12.0 】

感染性胃腸炎の発生状況は、  
鹿屋保健所管内からは47名（定点当たり報告 9.40）の報告がありました。

志布志保健所管内からは15名（定点当たり報告 5.00）の報告がありました。

年齢別では、10～14歳が最多でした。



※第15週は鹿屋・志布志のみ掲載

## 「手足口病の予防について」

今週、志布志保健所管内での手足口病の報告が大きく増加しました。  
例年夏場にピークが見られ今後も増える事が予想されるため、注意が必要です。

### 【手足口病とは】

口の中や手足などに水疱性の発疹が出る、ウイルスの感染によって起こる感染症です。  
子どもを中心に、主に夏に流行します。  
感染経路は、飛沫感染、便中に排泄されたウイルスによる経口感染、水疱内容物からの接触感染などです。  
保育施設や幼稚園などでは、子ども達同士の生活距離が近く、濃厚な接触が生じやすい事等から、集団感染が起こりやすく注意が必要です。

### 【症状】

3～5日の潜伏期をおいて、口の中や、手のひら、足底や足背などに水疱性の発疹が出現します。一般的には発熱で始まる軽い病気で、ほとんどの人が1週間から10日程度で自然に治ります。合併症もほとんどありませんが、まれに髄膜炎等の中枢神経症状が発生することもあります。

### 【予防方法】

予防方法としては、接触感染を予防するために手洗いをしっかりとすること、排泄物を適切に処理することです。  
保育施設などでは特におむつ交換をするときには、排泄物を適切に処理し、しっかりと手洗いをしてください。  
また、タオルの共有はしてはいけません。

